

防災通信

No.38号

2022年10月1日

県ドリームハイツ防災隊 教育広報部

TEL&FAX 045-851-2596

災害(大地震)発生時、ドリームハイツでは、「在宅避難」が基本であり、その重要性和「在宅避難」を円滑に達成するための準備に係る**具体的情報**は、防災通信No.35号以降掲載中です。

「在宅避難」の重要ポイントは「**室内の安全対策確認**」です。38号では、「食料の備蓄(36号)、防臭袋使用によるトイレ準備(37号)」に続き「**家族の身を守るための準備と行動**」関し紹介します。

1. 震災に備えて各家庭での日頃からの準備

大地震でのケガの原因の大半は、家具の転倒、物の落下とガラスの飛散です。

① 「家具は倒れる、食器等は落下する」と考え対策を

各家庭で、居間、寝室等の大型家具・電気製品の転倒防止の可否を確認して下さい。転倒対策未着手の家具、電気製品は正しく固定して下さい。窓ガラス、食器棚等のガラス飛散防止対策、TV,PC等は耐震マットで揺れ低減対策を実施して下さい。

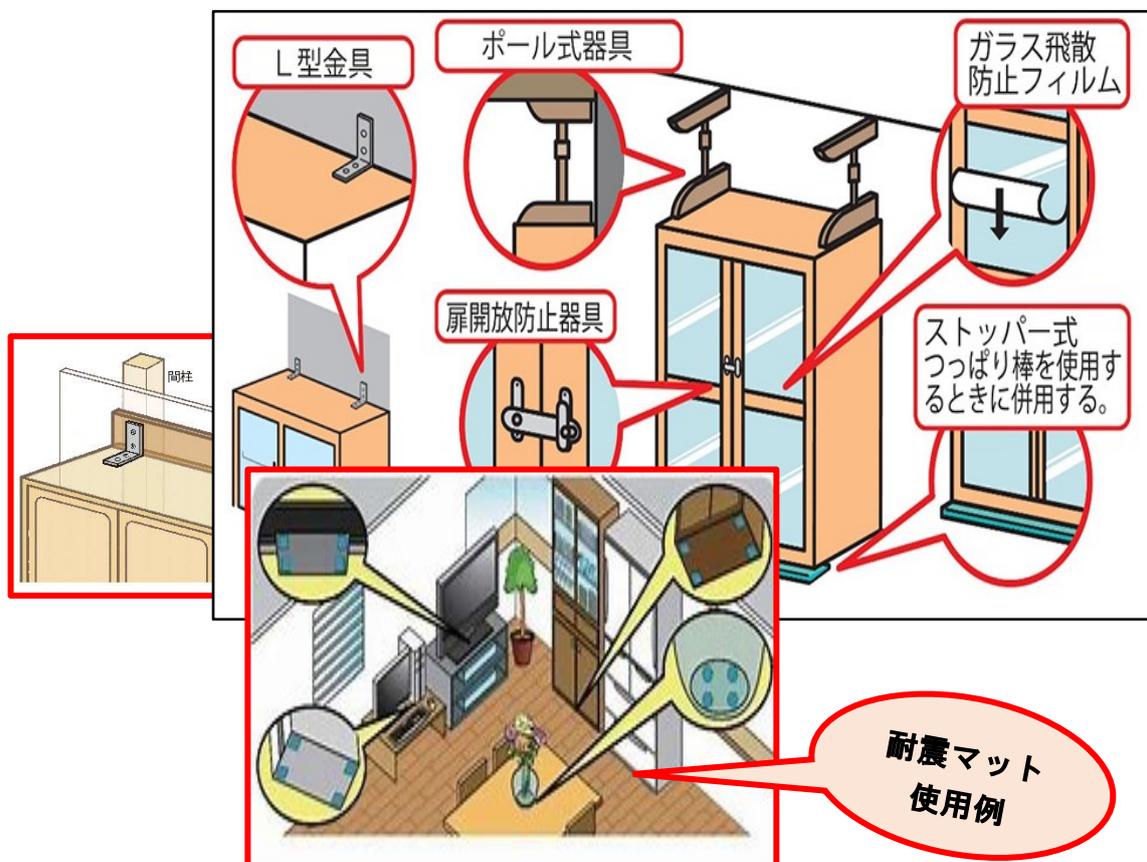


図-1 家具転倒防止・ガラスの飛散防止、揺れ低減対策例

横浜市では「家具転倒防止器具の取り付け」を無料で代行しております。

(但し器具代は申請者の負担)：横浜市 HP を参照してください)

詳しい、防止器具取り付け方法はカタログ、各社の HP を熟読ください。

②地震発生後の未対策家庭の被害



災害発生時、床にガラス・陶器の破片が散乱する可能性があります。ガラスの飛散防止対策により未然に防ぎましょう。又室内用の厚底の靴も忘れずに。

図—2 ガラスの飛散防止未実施の場合



地震は深夜・睡眠中に発生の可能性もあります。寝室には大型家具を設置しない様に。既に設置の場合は家具転倒防止具で、ガラスには、飛散防止フィルムを貼り対策しましょう。吊下げ式照明器具の落下防止策も重要です。就寝時、非常用持出品・上履き靴は枕元に

図—3 寝室の対策例

2. もし「地震発生した場合」は家族の安全確認を最優先に！

地震発生

「自分の命は自分で守る」
3つの安全行動を
1分間 その場で!

① DROPI まず低く	② COVER! 頭を守り	③ HOLD ON! 動かない
-----------------	------------------	--------------------

地震発生時の安全確保行動 1-2-3 (Drop,Cover,and Hold On)

3. 地震発生後は在宅避難を検討する

- ・自宅周辺のチェック！・・・自宅内の被害ないか、周囲の火災の危険性ないか？
- ・備蓄品の備蓄量・各種機材の確認！

《防災隊ホームページ閲覧のお勧め》

「[ドリーム燦燦\(サンサン\)](#)」 インターネットから 検索

(本HPは地域の各団体等の、地域への広報ツールとして運営)。標題ページ右下部

「[県ドリームハイツ防災隊トップ](#)」 ボタンをクリック ⇒ [防災隊のHP](#) が表示

→ 防災隊の各種活動、防災マニュアル、防災通信などが掲載されています。

注：38号に掲載した転倒防止事例は横浜市・東京都防災関係のHPより転載しております。